

PTA あきた



2015.3.1 No.127

【会 員】秋田県PTA連合会
【事務局】秋田市山王中町前1番1号 秋田県生涯学習センター内
TEL.(0)1864-6975 FAX.(0)1864-7935
E-mail: pta-akita@akita.or.jp
http://www.pta-akita.com



～みんなで育てる 秋田の子ども～



「親子スキー教室」
十文字第二小学校(横手市)

「秋田の冬を満喫!スキーで絆を深めよう」
親子スキー教室」
牛島小学校(秋田市)



平成26年度
みんなで育てる秋田ふれあい事業から



教育 懇談会

秋田県教育委員会と秋田県PTA連合会との教育懇談会を平成27年1月23日(金)に開催した。県教委からは米田教育長、廣野義務教育課長、平川生涯学習課長と各議員、PTAからは会長、副会長、委員、参与、監事、幹事等が出席し、「不登校について」「コミュニティスクール及び学校・家庭・地域の連携について」「子どもたちのインターネット健全利用について」の三つのテーマについて意見交換が行われた。

最初に米田教育長からは、多方面から子ども達を取り巻く問題について目をかけていかなければならぬとのあいさつをいただき、テーマ毎に話し合われた。



○ PTA関係者 ● 県教育委員会

不登校について

- 不登校児童生徒数が増えているようですが。
- 全体的には、各年度の振れ幅があるので、その範囲内と捉えてる。不登校児童生徒の解消に向けては、75校にスクールカウンセラー(SC)を配置し、SCを補う心の教室相談員も置いてる。その他に広域カウンセラーの配置やすこやか電話など困ったことがあればいつでも相談できるような取り組みを行っている。県教委発行の「学校教育の指針」の中に、いじめ・不登校が起きてからと言うよりも未然防止が一番大事と載せている。重要なキーワードとして、「自尊感情」「自己有用感」がある。好ましい人間関係作りと子ども達が学級学校で役に立っているというようなことを感じられる取り組みを推し進めている。
- ある学級が落ち着かなく、先生の他に地域のお年寄りやPTAの昼のボランティアがスクールカウンセラーなどと協力し合いゆっくりゆっくりですが解消しつつある。
- 何かあった時は担任ひとりでは背負わないで、学校全体のチームとして、外部、地域、保護者の方の協力を得ながら動く、機能することを伝えている。
- もっと相談ができる方の配置を増やして欲しい。
- 人材については、予算や資格のことも今後の課題です。
- 地域の保健師は母子手帳交付から母子に関わっているの、いじめ・不登校の問題にも積極的なまた大きな力になれると考える。
- 外部機関連携の一つとして保健師さんが入るのはよいと思う。

コミュニティ・スクール及び学校・家庭・地域の連携について

- コミュニティ・スクール(CS)(注1)の県内の状況は？
- CSの条例制定が2市、導入している学校が小学校5校、中学校2校。
県内の取り組みは少ないが、本県は地域と学校の連携が密接な関係であると捉えている。
- 連携事業としては、①学校地域支援本部事業②放課後子ども教室推進事業③わくわく土曜教室推進事業からなる「学校・家庭・地域連携総合推進事業」がある。これらの事業効果には沢山の地域の人とふれあうことによる豊かな人間関係の構築、開かれた学校・学級作りと安全安心な居場所の確保、そして住民の生きがい作りがある。今年この事業支援に9万9千人の方が学校行事の手伝いや授業の補助などのボランティアで関わっている。また、学校からは生徒が八幡平自然散策ガイドや除雪ボランティアなど相互の動きも見られる。県では連携のキーとなるコーディネーターの配置と養成を続けたい。
- 本校はCS認定されているが、コーディネーターを入れるとダブル形になる。
- CSと学校支援地域本部がダブルなのはかまわない。
- 現在CS会議の進め方を模索中だが、学校支援地域本部事業をヒントに進めても良いか。
- 地域と学校をつなぐ事業として、情報提供を心がける。



子どもたちのインターネット健全利用について

- インターネットの環境には様々な問題も内包しているが、今後の取り組みは。
- 現在進めている「大人が支える！インターネットセーフティの推進」事業を推し進め、「ネットに少し詳しい」地域サポーター養成講座の未開催地の開催と、そのフォローアップとして、「少し詳しい」から「より詳しい大人」への養成講座を目標している。
県庁出前講座「子どもたちのインターネット健全利用」は昨年の2倍以上の実施があり、各情報を共有化しながら、また、消費者教育の観点からも県民生活課等と連携を強化して、啓発促進と情報提供に努めたい。

(注1)コミュニティ・スクールとは、市町村教育委員会から任命された保護者・地域住民等が一定の権限や責任をもって、学校運営や教育活動に承認や意見をすることのできる「学校運営協議会」を設置した学校。



メモリアルページ

今年度をもってPTA活動の区切り(閉校)となる学校があります。

- ①創立年月日 ②児童・生徒数 ③PTA会長名 ④校歌

北秋田市立合川東小学校



①明治4年4月24日
②97名 ③工藤 元

雪をいただく 森吉の
嶺にはるけく こだまして
われらの歌が ひびきま
御山のようになきよらかに
明るくつよき学びましよう

霧のたんぽを 阿仁川の
流れ枕かに そそぐとき
われらは学を 掃きま
新たな面目になうたの
明るくつよき学びましよう

北秋田市立合川北小学校



①明治7年11月7日
②79名 ③伊勢 博文

起伏する 出羽の山脈
山河の うるわきさ
燃え上がる かげろうのち
生をうく われらが母校
母校こそ われらが生命

苔緑は 清くにほめて
苔緑は 遠くに伸びゆく
草原の 大らかさまで
母校こそ われらが生命

男鹿市立野石小学校



①明治9年3月14日
②55名 ③渡部 玉緒

学びの庭に ひとみは輝き
答美の 遠い歴史をま
響きの山や 風になま
ともにのびよ すこやかに
ある 野石 野石 わが母校

はるかな空に つばきをはばたき
つよつよに あすの文化を開く
希望にあふれる 海をこ
高くひびけ いつまでも
ある 野石 野石 わが母校

五城目町立大川小学校



①明治9年
③34名 ④船崎 一人

大川の 流れてやまぬ 勢いに
ひたすら進む 途を見て
おのが力を 信じつつ
大成の夢を 伸ばしよう

大川の 川のおす 田園 丘々と
置かなあふみ 岸に受けて
世々の時の あとを継ぎ
郷土に花を 開こうよ

にかほ市立小出小学校



①明治7年5月11日
②57名 ③佐藤 善仁

大空高く そびえたつ
鳥海の山 ゆたかなり
伸びて日々を たゆまなく
学びの業に げまさん

金井の丘に 朝日さし
未だの緑は かがやけり
ともにあかるく 手をとりて
学びの庭に いそしまん

刈 横手市立雄物川北小学校



①平成12年4月1日
②261名 ③佐藤 誠

出羽の大空 まぶしく晴れて
みどりの風が 顔にわたる
今 学び合ひ
此のみんなを 夢をむすぼう
山の恋みを 度だちにして

雄物の流れ 明るく映えて
みどりの風が 岸にそよぐ
今 学び合ひ
此のみんなを 夢をむすぼう
川のいのちを 度だちにして

横手市立福地小学校



①明治7年11月10日
②109名 ③佐藤 夕子

鳥海の山の 天そそり
雄物の川の ゆくところ
いともけだかく 仰がるる
我がまなびがはは ここにある

己のために 汗ながし
人のためには 涙もつ
共に学ばを 胸みつつ
開けゆく世を 葉かなん

南 横手市立南小学校



①平成11年4月1日
②78名 ④高橋 茂樹

青いっばいの空 鳥海山みえて
つばさう自由に ひびかける
はら 鳥たちは 高く飛ぶ
ひとみなあけて 夢ひびけ
ともに願おう 南小学校

青いっばいの大地 雄物川ながれ
つばさう自由に ささやける
はら 野の花は すがた清らに
つよく咲く たくましく
ともに伸びよう 南小学校

横手市立田根森小学校



①明治7年6月7日
②118名 ④高藤 浩

大地ひろびろ みどりにそめて
のびるきなさは われらがすがた
生々の意気 わがふるさとの
歴史が語る 和協の道を

めぐる山なみ ひとさわかき
鳥海山は われらが希望
敬業の念 心が輝き
かがやけ 校風 ほえあるあすを
いざ とともに 築こう われら

横手市立阿気小学校



①明治7年10月10日
②91名 ④鈴木 亮

晴れてかがやく 青空に
鳥海連く 立つところ
明るくひとみ はずらつと
よいはずここに 学びゆく
阿気小学校 望みあり

風もさやかな 雄物川
流れて清く 澄むところ
心をみがき 身をきたえ
よいはずここに 育ちゆく
阿気小学校 誇りあり

メモリアルページ

①創立年月日 ②児童・生徒数 ③PTA会長名 ④校歌

湯沢市立横堀小学校



雄雉の空に 風小ぶり
歌も明るい 華い高
大きな空を 押さえて
輝く明日へ はばたかう
あゝ 横堀小 その名は高い

役内の水 清らかに
潮音に響つ 若い魂
大きな空を 胸に鼓き
はげみ学ぼう はつとつと
あゝ 横堀小 その名は光る

①明治8年1月18日
②83名 ③高橋 昭尚

湯沢市立院内小学校



朝あけの 東空輝山 いはえて
光ふれる 緑の芝地
銀の調べ いにしえ語り
この学舎は 輝ける歴史を誇る
われら院内の子は 院内の子は
希望にみちて 学ぼうよ

風渡る 樹々さわやかに 響き合い
若みみなる 緑の大地
雄物の音 流れる清く
この学舎に 新しき文化を刻る
われら院内の子は 院内の子は
明日に向かって 伸びようよ

①明治7年4月22日
②38名 ③杉 盛栄

湯沢市立秋ノ宮小学校



真木沢水の 清流を
うけてのびゆく 学び舎に
香等は集い たゆみなく
平和と文化に 手を結び
秋小 香等 学びゆく

宮月 殿置 役内の
山と森との 影うつし
流れてやまぬ 川はより
強く明るく 誇らいて
秋小 香等 育ちゆく

①明治11年8月
②53名 ③樋口 貞治

湯沢市立小野小学校



古き歴史に 輝ける
誇りぞ高き わが郷土
この伝統を 身に付けて
われら われら正しく 伸びゆかん
あゝ 栄光の 小野小学校

茂る山脈 渡める川
賢源も置け わが郷土
自然の恵みを 守りぬき
われら われら健やかに 伸びゆかん
あゝ 夢多き 小野小学校

①明治8年1月
②63名 ③小野垣 圭一

大館市立花岡中学校



鉱石目ごと 山なして
伸びゆく日本に こだまする
わがふるさとの あしたをにない
日々学びも ゆたかにさすく
われら 花岡中学校

かがやく空よ 大山上
朝風ながれる うつくしき
あも友愛の 輪も打つまじく
平和の国の 力を胸に
希望にもえて ゆくわれら

①昭和22年4月1日
②42名 ③山本 敦

大館市立矢立中学校



緑の森は広々焼き
雲流しく輝くところ
のびゆく彩の力を
自らの精神さまで進む
希望あふれる我等の校舎
今日も朝風あたるたにちおう

未来の海へはるかな道を
下内川の流れるところ
たゆまぬ夢うつところ
平和日本を築くは我等
心あふれる希望に
学ぶひとみも明るく光る

①昭和22年5月1日
②30名 ③岩谷 成人

大館市立大館第二中学校



春紛乱の空高く
希望の星を仰ぎつつ
勇気無窮にひめ
るもゆかしき花あやめ
かざして行か 若人の
憧れの丘 相楽台

洋々氷火の霞わりなき
下内川の清流に
かく歴史を偲ぶつく
斬しき世を憂へつく
真理 長久寺人の
研鑽の丘 相楽台

①昭和22年4月1日
②141名 ③日原 賢悟

由利本荘市立出羽中学校



光もにおう 朝空に
出羽五陵の 山々つづき
雲流しく 輝くところ
明けゆく日本の希望を映し
願むわれらのひとみも清く

白雪高く 奥海の
輝々しき輝く われらが集い
正しく固く 心をあわせ
伸びゆく日本の力と育つ
みがく英知の花咲きかおる

①昭和25年4月1日
②101名 ③長谷部 情

湯沢市立須川中学校



梅ヶ台の空 朝あけて
はるかになびく 雲の色
花咲きかおる この校庭に
魁の脇みて 学びゆく
われら 須川中学校

群山高く そびえいて
あまねくわたる 陽の光
堂々うつ この丘に
真理の道を 究めゆく
われら 須川中学校

①昭和22年4月7日
②20名 ③柴田 栄

〈平成27年度 統廃合の状況〉

小学校

合川東小	合川北小	野石小	大川小	小出小	雄物川北小	福地小	南小	田懸森小	阿賀小	横堀小	院内小	秋ノ宮小	小野小	花岡中	矢立中	大館第二中	出羽中	須川中	雄勝小(新設)へ	小野小	北陽中(新設)へ	大内中へ	湯沢南中へ
→	→	→	→	→	→	→	→	→	→														

湯沢雄勝

●「学校教育とジオパーク」

9月27日(土)、雄勝文化会館において都PTA連研究集会が行われた。今年度は本郡市の研究主題のもと、地域の方々に関心の高い「ジオパーク」に関する講演会を実施した。



講師は、湯沢市ジオパーク推進協議会アドバイザー佐々木昭雄先生。演題は、「学校教育とジオパークー地球科学から湯沢の風土と郷土を学ぶー」である。

当日は、講演会に230名程の参加者があり、盛会裡に終えることができた。講演では佐々木先生が、湯沢ジオパークの2年間の成果に基づきながら、「ジオパークとは」「湯沢の風土と郷土」などについて分かりやすくお話ししてくださいました。参加者にとっては地元の財産を見直す良い機会となった。

講演会に参加した方々からは、「宝を見つけ、歴史を学び、活かし、伝えることの必要性・大切さを実感できた。」「地元の宝を再発見し、子どもたちと一緒に学ぶことが大切であることを知った。」などの感想が寄せられた。

横手市

●「学力から家庭の役割を考える」

今年度の研究集会は、11月29日、御朱實と180人の会員の参加を得て、平農生涯学習センターで開催されました。

秋田大学阿部昇教授の「秋田の子どもの学力向上の秘密ー学校の役割と親の役割ー」と題した講演では、今求められている学力や授業についての説明の後、家庭の役割に関わって具体的な提言をいただきました。その一部を紹介しします。

①子どもの「なぜ」「どうして」「こう思う」「こう感じた」を大切に。フィンランドでは幼稚園から「あなたはこう思う」と聞き、それが最終的には判断力の育成に繋がっている。

②子どもの学習姿勢は、家庭と学校の連携で決まる。親が見られる子どもの顔は限定的だから、担任の先生や部活の先生、他の保護者との対話が重要だ。学校に頻繁に足を運ぶことによって、子どもを多面的に知ることができ、つまずきを早期に察知できる。

子育てと同様に「学力向上の基盤は繋がりと連携にあり」を確認した研修になりました。



美郷町

●安心安全なネット利用に関する講演会

美郷中PTAと合同で、大人から子どもまで多くの方が利用しているLINEを題材に、『みんなで考える情報モラルとコミュニケーション』と題して講演会を開催しました。講師の先生からは、LINEは家族・友人などとつながるコミュニケーションサービスとして、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめる新しいコミュニケーションアプリであるが、使い方を間違えるとトラブルや犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、子どもがどのように携帯端末等を使用しているかをよく大人が把握することの重要性を教えてくださいました。当地区では、今年度学校と連携し携帯端末等の使用時間を決める等の対策を講じてきました。子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれないために、携帯端末等の使用について家族で話し合う事の大切さを再認識できた研修会でした。



仙北市

●食育講演会と給食新メニュー試食会

平成27年2月8日(日)、学校給食における地場食材の利用促進を図るため、仙北市と仙北市PTA連合会が連携し、学校給食における地産地消の意義を相互に理解し、食材供給体制の強化を目指すためのシンポジウムを開催しました。仙北市は平成29年度までに、現在の学校給食における地場食材の売上率を10%向上することを目標に、関係者が学校給食食材供給の現状を把握し、課題を整理するとともに、目標達成にむけた取り組みをしています。最初にファームインさき山代表萩原さとみ氏より「学校給食における地産地消の意義」と題した講演をいただき、その後「学校給食において地場食材の利用拡大を図るために」と題して、パネルディスカッションを行いました。昼食には給食新メニューの試食を行いました。メニューは「仙北牛と根菜のほっ葉煮・雪下キャベツのコールスロー・あえ・山の芋汁」でした。110名の参加者は、家庭でもなかなか調理できない久しぶりの給食メニューに感激しながら全員完食していました。今回の取り組みが地場食材の更なる利用促進につながればと思います。



大田市

●「共に創る 考え開く～『語ろう!かだろ!』」



11月30日に行われた母親委員会学習会では県立農業科学館のご協力をいただき「米粉パンケーキ作り」を行いました。母親委員27名、お子さん20名、合計47名の参加をいただき短時間で楽しくおいしいパンケーキづくりが

でき、好評をいただきました。また次回を楽しみにしているという意見もたくさんいただくことができました。

12月15日には、第16回研修会を南外小学校、南外中学校さんの協力をいただき「研修視察」授業参観と地区の幼・保や小、中学校及び公民館、支所との連携を柱にした学校経営について取り組みの紹介と協議がなされました。

第17回研修会は1月7日、羽後町立図書館長原田真裕美氏をお迎えして「子どもたちが輝く読書活動」について講演をいただき、家庭での家読の紹介(子どもの読んだ本を親も読んでその感想を家庭で話し合うこと)と2冊の絵本を朗読をしていただき参加した会員180名は貴重なひとときを共に過ごすことが出来ました。

2月には第18回の研修会で①児童生徒の学力等の状況について②食物アレルギー対応について③情報モラルいじめ対策について研修会を実施する予定です。

にかほ市

●講演会

今年度、にかほ市PTA連合会では青少年育成にかほ市民会議との共催で、平沢小学校を会場に約700名(平沢小児童も含め)の参加を得て、増岡弘氏は講師を迎え「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」の演題で行いました。増岡氏は「サザエさん」のマスオさん、「それいけ!アンパンマン」のジャムおじさん役の声優で、会場ではマスオさんやジャムおじさんが何度となく登場し、子供たちを含め参加者たちが笑顔の花を咲かせていたのが印象的でした。増岡氏は言葉の二面性についても語られ「言葉は相手に対するプレゼント」、「相手とどんなふうと話したら伝わるのか?」、「言葉は口からでたらもとに戻らない」など改めて言葉について噛みしめる事ができました。

また、アンパンマンの作者やなせたかしさんの「どこかに、どこかに嬉しいこと預かってくれる銀行はありませんか?」悲しいときに使いたいから」とあったかいエピソードも紹介してくれました。大人も子どもも宝物に残したい言葉で、声優を生業としている人だけに優しい言葉の中にぎゅっとと大切な心が詰まっているとても重みのある講演でした。



由利本荘市

●市P連『教育懇談会』開催

12月6日(土)、市P連主催の「教育懇談会」を開催しました。

来年度、本市内全小・中学校が「コミュニティ・スクール」の指定を受けることから、市教育長より「コミュニティ・スクールの根拠」と題して講話をいただき、それを受けて「コミュニティ・スクールの実施に向けてのPTAとしての役割」というテーマの下、約80名の参加者が8グループに分かれ、すでに指定を受けている学校からの情報提供も交えながらグループ討議・報告を行いました。

会員からは、「他校の現状を知るよい機会となった」「会員として理解が深まった」「自校の会員への説明が今後一層必要だと感じた」等の感想が寄せられ、指定を受けるにあたって、これからのPTAとしての役割について考える貴重な会となりました。



秋田市

●「子どもの心～ちょっと気になる…うちの子の今～」

秋田市PTA連合会生活安全部では、10月28日、臨床心理士の伊藤佐知子先生を講師にお招きし、「子どもの心～ちょっと気になる…うちの子の今～」との演題でご講演いただきました。通常であれば講演終了後に質疑応答で終了となる講演が多いのですが、今回は聞き手に秋田市PTA連合会加藤会長をお招きし、対談方式で講演を実施致しました。

ただ講演を聴くのではなく、加藤会長の伊藤先生への鋭い質問とツッコミも発生し、真面目さの中にも笑いもあり大変見応えのある対談となりました。また、会員の皆様から事前に聞きたい事、相談したい事を書面にていただき、伊藤先生と会員の皆様から解決に向けたたくさんの意見をいただく事ができ、大変良かったと思います。

今後PTA会員のニーズに合った研修会や情報交換会を実施し、PTA活動の推進に努めて参りたいと思います。



潟上南秋

●講演会「生きる喜びを歌う」

昨年度に引き続き、五城目町PTA連合会と共催で、12月8日に潟上市・南秋田郡PTA連合会研修会を開催しました。小・中学生を含む130名の参加者が、講師のシンガーソングライター板橋氏の歌とお話を楽しみました。板橋氏からは、「あきらめない心、分かち合う心をもって強く生きてほしい」というメッセージが強く伝わってきました。



講演会参加者の感想を紹介します。

- 人は目が見えても見えなくても、悩みや不安がたくさんあります。板橋さんのあきらめないという気持ちがとても伝わる講演・曲でした。これからもライブや講演を通して、生きる喜び、あきらめない心を伝えてください。
- 「当たり前」のことに感謝する。この思いが足りないことを痛感させられました。このことに気付かせてもらえたこと、この話を聞いたことに感謝します。

能代山本

●つなげよう！子どもたちに明るい未来を！

今年度、能代市山本郡PTA連合会では、テレビやラジオのパーソナリティーとして大活躍している石地政和氏の講演会を行いました。「良い子、悪い子、普通の子、結局やっぱりあなたの子」と題して行われた講演は、ユーモアに富んだ中にも家庭教育についての示唆をたくさん与えていただくお話でした。また、講演会にあわせて、各単位PTA発行のPTA会報等の展示会も開催しました。

本連合会の母親委員会では、「あなたにもできる救命処置」と題して救急救命講習会を行いました。能代消防署救急課の方を講師に行われた講習会には、定員を上回る47名が参加し、実際に心臓マッサージと人工呼吸、AEDの使用方法について



実技研修を行いました。通報してから救急車が到着するまでの数分の長さとその重さ、命を繋ぐ大切さを実感することができた講習会でした。

男鹿市

●保護者にできること

今年度の研修会は「親子で向き合う情報化社会 安心・安全な情報機器の活用」をテーマに開催しました。これは、今年度の秋田県PTA連合会の具体目標のひとつとも連動するものです。すでに現代社会の大きな課題でもあります。テーマは大きいのですが、この度の限られた時間において重点的に行ったのがグループ別フリートークキングでした。

自分たちの状況について話し合い、どうしたらよいかということを中心して話し合うとてもよい機会でした。「忙しい日々においても日頃から少しずつでも子どもとコミュニケーションをとってあげれば、子どもたちのことがわかるし、危険信号をキャッチできる。」「ソーシャルメディアに疎くても、保護者は人生の先輩として堂々とアドバイスしてもよい。」など参考となる意見がたくさん出されました。



このような研修会などの積み重ねにより、子どもたちを守っていくことができれば最良です。

大館北秋田

●メディアとの付き合い方について学ぶ

今年度は、大館市小中PTA連絡協議会と共催で、PTA功労者表彰と講演会を実施しました。表彰式では、43名の個人と、5つの団体が表彰され、表彰者のご功労を参加者全員で讃えました。

また、研修会では、「あきた心理センター」センター長の石山宏央氏をお招きして、「メディアとの付き合い方について」という演題で、ご講演いただきました。スマホが育児にも影響を及ぼしていることや、ラインによる生活習慣の乱れ、人間関係を築けない子どもやトラブルにも繋がっている事が話されました。

約200名の参加者からは、「メディアによる課題は、大人が見本を示していかなければならないと思った」「タイムリーな講演だった」「ネットの使い方について親子でルールを決めたい」等、数多くの感想が寄せられ、有意義な研修会になりました。



かつの

●かつのPTA活動を考える会

かつのPTA連合会最大の事業である「かつのPTA活動を考える会」を、今年度は11月29日(土)に開催しました。

第1部は、県教育庁北教育事務所鹿角出張所の奈良育先生から、「鹿角人口の推移と各学校の取組」と題した講話をしていただきました。急激な人口減に伴って児童生徒数も減少している現状を踏まえ、他校の実践をしながらオール鹿角一つになって地域を支えていくことが重要であるというお話でした。

第2部は、昨年度の県PTA研究大会能代山本大会でも講演されたNPOファミリーネットワーク代表の村岡昇氏から、「大人のためのココロの授業」との演題でご講演いただきました。子供の情緒が安定するための朝の挨拶方や、子供の心の中に耳を傾けることの大切さについてお話しいただきました。

地域と学校が連携した子育てを構築していくために、今後のPTA活動を考える良い機会となりました。



交通安全のよびかけ

「新入学期の交通安全運動」

平成27年4月6日～4月12日

○**急がずに マナーとゆとりで
交通安全**○**外出は 明るい笑顔と 反射材**

「春の全国交通安全運動」

平成27年5月11日～5月20日

おめでとう！佳作入賞

「楽しい子育て全国キャンペーン」親子で話そう！
家族のきずな・我が家のルール」

三行詩コンクール受賞作品

**お母さんの料理サイコーと長男
つられてそうそうと次男
気まぜくなくてうなづく父さん**

種渡 市子さん
(湯沢市立湯沢西小学校 PTA)



ありがとうございました。
仙北市立神代小学校PTAより2万円、秋田市立桜小学校PTAより3,579円の募金がありました。
平成27年3月6日の秋田駅「心のきずな61キャンペーン」の募金と日本PTAにお届けします。

PTA安全互助会から

●加入している保険の補償内容

- ・児童・生徒：家庭内でのケガ、登下校中のケガ、遊戯中や車を傷つけた等の補償etc.
- ・PTA会員：PTA主催(共催)の行事でのケガ、PTA行事活動中の管理者責任を負担することで生じる賠償金の補償etc.

●加入のお願い

平成27年度版「加入の案内」を3月中にお送りいたします。安全互助会の趣旨をご理解いただき、加入よろしくお願いたします。平成27年度総会後に秋田県PTA連合会と統合し、事業名を安全互助事業に変更予定です。

インターネットセーフティPR
キャラクター紹介

秋田市山王中学校
1年柴田陶子さん作品

坂元意委員長のコメント

☆スマートフォン等を「うまく」使うというイメージが盛り込まれており、この取組(インターネットセーフティ)の目指す「安全と活用」という方向性を端的に示している点。

このキャラクターが推進力の一つとなり、今後もインターネットセーフティの取組がすすむことを願っている。



「うまホ」



日新火災



日新火災は、ひとりひとりのお客さまとしっかり向きあう「顔のみえるおつきあい」で、お客さまのご期待にお応えしたいと考えています。

お客さまに最も身近で誠実なご提案を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取組会社
日新火災海上保険株式会社

秋田サービス支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-24F TEL.010-837-5255